

第94回医療薬学公開シンポジウム

実行委員長 崔 吉道

(金沢大学附属病院 教授・薬剤部長)

2024年10月6日(日)に金沢大学附属病院宝ホールにおいて、第94回日本医療薬学会公開シンポジウムを対面にて開催いたしました。シンポジウムのテーマを「地域医療・在宅医療を支える薬剤師の専門性」とし、職域横断的に2040年の医療体制を支える薬剤師の専門性を議論するシンポジウムとして企画したところ、県内外の病院、薬局、介護施設、行政、大学、医薬品卸、学生など77名が参加するシンポジウムとなりました。

プログラムは、冒頭に特別講演として日本経済大学大学院教授の赤瀬朋秀先生に「2040年を見越した地域医療における戦略とマネジメントー未来の薬剤師、そのあるべき姿を考えるー」と題して、過去から現在の医療における薬剤師の立ち位置、職能の変遷と2040年を見越した地域医療における戦略とマネジメントについてご講演をいただきました。その後のシンポジウムでは「薬剤師が進める地域医療連携と卒後教育」をテーマとして、石川県健康福祉部地域医療推進室次長の細木信哉先生から「石川県における地域医療連携の推進」、市立敦賀病院副院長の荒木隆一先生から「患者のケア移行における連携の推進と卒後教育」、薬局薬剤師の立場で地域薬学ケア専門薬剤師として病院研修を行っている太平寺らいふ薬局の中川友之先生から「地域医療における薬剤師の職能発揮ー地域薬学ケア専門薬剤師の在宅医療への関わりー」、高齢者施設を運営する薬局薬剤師の立場で株式会社スパーク代表取締役の橋本昌子先生から「超高齢社会における薬剤師の果たすべき役割ーその人の人生に寄り添うケアを考えようー」、最後に株式会社日本総合研究所調査部主任研究員の成瀬道紀先生から「地域医療における今後の薬剤師の在り方」と題した講演を拝聴し、引き続き総合討論を行いました。本公開シンポジウムは、医療と介護の現場の薬剤師に加え、施設開設者、行政、大学教員、民間シンクタンクおよび経済の専門家と多岐にわたる参加者の間で2040年の地域医療・在宅医療を支える薬剤師の専門性について熱のこもった議論がなされ実り多いシンポジウムとなりました。

最後になりましたが、多忙な中、ご講演と座長の労をお取りいただいた先生方、休日にもかかわらず熱心にご参加頂いた参加者の皆様、共催団体として本企画にご支援ご尽力いただいた石川県病院薬剤師会会長森戸敏志先生、石川県薬剤師会会長中森慶滋先生、後援いただいた石川県の関係各位、準備段階から種々ご対応いただきました学会事務局と実行委員会事務局の川上貴裕先生に心より御礼申し上げます。